



長野県版グローバルキャリアフェア開催 ～長野県の海外人材活用に向けて～

長野県県民文化部国際課 主事 早川 真由美

国際感覚を身につけた JET プログラム参加者への就職支援事業の一環として、クレアが実施している JET プログラムキャリアフェアの長野県版を、長野県と長野県国際化協会が、クレアと信州大学と共催で、地方として初めて開催しました。

今回は、長野県の独自の取り組みとして地元の信州大学と連携・協力し、JET プログラム参加者のみならず県内の学校で学ぶ留学生・卒業生も対象としました。

長野県の現状

長野県内の高等教育機関には 2016 年 5 月時点で約 1,400 人（日本学生支援機構調べ）の留学生が在籍しており、その数は年々増加傾向にあります。長野県では『グローバル NAGANO 戦略プラン』を 2016 年 10 月に策定し、グローバル人材の活用や活躍の場の支援策など海外活力の取り込みを図っています。現状では、留学生等は県内企業を知る機会や折衝する機会がないため、貴重なグローバル人材の多くが帰国するか東京等大都市で就職しています。こうした状況を踏まえ、高度な知識やスキルを有する外国籍のグローバル人材を、県の産業や教育の発展および地域の活性化に寄与する「人財」として長野県内で確保することを目的に、グローバル人材を求める企業とグローバル人材とのマッチングの場を提供するグローバルキャリアフェアを長野県で初めて開催することとしました。

Global Career Fair in NAGANO 2017 の概要

2017 年 5 月 20 日（土）13:30～17:00 に長野市内の信州科学技術総合振興センター（信州大学工学部内）において、Global Career Fair in NAGANO 2017（長野県版グローバルキャリアフェア）を開催しました。

当フェアには、25 社の企業と 60 人の JET プログラム参加者および留学生等が参加し、参加者は熱心に企業

の説明に聞き入っていました。JET プログラム参加者の中には、県外から来場し時間の許す限り真剣に企業ブースを回る姿も見られました。

その他、当フェア会場内では長野県行政書士会の協力を受け、就労や在留資格に関する相談コーナーや多文化共生くらしのサポーターによる相談コーナーも設け、企業や参加者からの相談に対応しました。



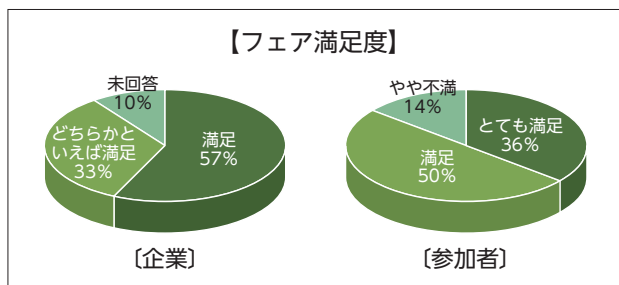
開会式の様子



企業ブースにおいて企業担当者から説明を聞く参加者

Global Career Fair in NAGANO 2017 の評価

当日実施したアンケートでは、参加企業の 90%が「満足」または「どちらかという満足」、参加者の 86%が「大変満足」または「満足」という回答を得ました。



こういったフェアの必要性についての問いには、「必要」または「どちらかといえば必要」と95%の企業が回答しました。

その他の意見・回答としては、下記のとおりでした。

【参加企業】

- ・良い人材が多かった。
- ・ターゲットとしている地域の参加者がいた。
- ・たくさんの人材に出会えた。

【参加者】

- ・非常に素晴らしい企業が多く、参加してよかった。
 - ・就職先の選択の視野を広げる良い機会だった。
 - ・いい時間を過ごし、多くを学び、何らかのつながりができた。
 - ・今まで東京や大阪など大都市でしかこういうイベントがなかったので今回の企画はとても良い。
- など参加企業および参加者双方から高評価をいただき、一定の手ごたえを感じることができました。

また、会場に入る際の参加者はとても緊張した面持ちで企業ブースへ足を運んでいましたが、会場を出る際には笑顔になり感謝をして帰る参加者も多くいました。

このフェアをきっかけに県内での就職につながっていくことを期待しています。

地方でのグローバルキャリアフェアの必要性

当日のアンケートでは、海外人材の受け入れについてどう考えているかという問いに「必要」または「どちらかといえば必要」と90%の企業が回答しました。約半数は専門的な知識・技術を持つ高度人材の受け入れが必要とし、約3割が高度人材と単純労働に就労する人材が必要と回答しています。その背景としては事業拡大、グローバル展開、人材不足等です。急速な人口減少により労働力が減少する中、地域の産業を支えるにはグローバル人材の確保が急務となっています。また、グローバ

ル化の進展により海外へ進出する企業が増加する中、企業としては進出先の国の実情に詳しいグローバル人材を採用したいと思っています。しかし、そういった人材の確保の手立てが分からなく良い人材が採用できないなど、海外人材と企業とのマッチング支援を多くの企業が求めています。

一方、留学生側が長野県に求める就職支援策として、外国人専用の求人サイトの開設が最も多く、次いで県内での合同企業説明会の開催が半数以上でした。現在は、留学生等外国人材に関する合同就職説明会について東京および大阪等大都市がメインとなっていますが、地方でのグローバルキャリアフェアの開催が地元企業および留学生等にとって必要性が高いということが分かりました。

また、今回のフェアでは、留学生1年生から、そしてJETプログラム1年目の参加者など対象の幅を広げ、来日当初から県内企業を知っていただくきっかけづくりをしました。早くからマッチングの場を設けることにより就職先の視野を広げることができると確信しました。

今後について

このフェアに参加した企業へのフォローアップ調査をしながら、このフェアを通じて得た参加企業や参加者の意見、さらに県内企業・学校・団体・県等が連携・協力して、多くの企業ニーズやJETプログラム参加者および留学生等の要望などを把握し、双方がマッチングできる場の提供や情報共有できる場が必要ではないかと考えています。

こうした就職支援を通じて、県内で高度な知識を学んだ留学生等グローバル人材が県外もしくは国外へ流出することなく、県内においてその人材が持っている能力や知識を発揮できる場や活躍できる場を構築していくことが重要です。



企業訪問シートに記入する参加者